DJ-P222 セットモードについて

DJ-P222 特定小電力トランシーバーは、各種機能を用途に合わせてより使いやすくするために、カスタマイズすることができます。製品に付属する説明書の「セットモード」の項目で簡単に使い方をご説明しておりますが、無線機の機能になじみの無いお客様向けに、本書にて詳細をご説明します。

*文中、「設定値」は変更や設定ができる内容、「初期値」は出荷時の設定です。

1: 電池選択機能「bAt」
設定値 AL／ni（初期値 AL）

オプションのニッケル水素充電池 EBP-179 を使用する際、減電池表示マークを正しく表示させるために設定します。この設定をしないと表示が不正確になります。
AL　：アルカリ乾電池
ni　：ニッケル水素充電池 EBP-179

2: コンパンダー機能「CmP」
設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

コンパンダー機能を ON に設定すると、通話中、音声が無いときに「サー」と聞こえるかすかなバックノイズを低減することができます。コンパンダー機能のないトランシーバーと通話する場合には必ず OFF にしてください。逆に音質が悪くなることがあります。

3: VOX 機能「vo」
設定値 OFF/Lo/Hi（初期値 OFF）

「話すと送信、黙ると受信」のハンズフリー通話が可能になります。
Lo：VOX 感度 小（大きめの声でないと送信しません。周りがうるさく、黙っていても送信してしまうようなときの値です）
Hi：VOX 感度 大（小さめの声でも送信します。周りが比較的静かなときはこちらをお試しください）

注）・VOX 機能は一部のオプションマイクでは使用できません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。
・VOX 感度を「Lo」に設定しても、音声以外で送信してしまうような騒音の大きい場所では、この機能はお使いになれません。
・VOX 機能を使うと、声を出してから送信するまでに多少時間がかかるため、音声の始めが途切れて聞こえる場合があります。「了解です、〜〜〜」「はい、〜〜〜」など、用件に入るまでに頭切れしても差し支えないような言葉を挟んで話し始めると通話しやすくなります。

4: 秘話機能「Scr」
設定値 OFF / ON（初期値 OFF）

秘話機能を ON に設定すると、設定をしていないトランシーバーで受信したときには「モガモガ」のような声になって通話内容が聴き取れなくなります。秘話（スクランブルトーク）機能を搭載した弊社製トランシーバー間で通話することができます。

注）本機能のセキュリティレベルは非常に低いものです。機密を要する重要な通話に使えるレベルのものではありませんのでご了承ください。秘話設定にしても声が違和感なく聞こえないときは、拡張セットモードで秘話周波数設定が変更されている可能性があります。拡張セットモードの説明は弊社ウエブサイトでご覧いただけます。
また、従来機種と組み合わせ使用される際は、通話内容が聞き取りづらくなることがあります。

5: ビープ音量「bP」
設定値 OFF/Lo/Hi（初期値 Lo）

本体から鳴るビープ音（操作音）の動作を変更することができます。
oFF：すべてのビープ音（キー操作音、各種アラーム音、ベル音）が鳴らなくなります。
Hi ：標準の Lo 設定時よりも、すべてのビープ音量が大きくなります。

注）イヤホンを使用した状態でビープ音量を「Hi」に設定すると、大きな音で耳を痛める可能性がありますのでご注意ください。

6: エンドピー機能「EdP」
設定値 OFF/ON（初期値 OFF）

【PTT】キーを離したときに「ピッ」と鳴って送信が終わったことを相手に伝える「エンドピー」機能の ON/OFF が設定できます。

7: ベル機能「bEL」
設定値 OFF/ON（初期値 OFF）

呼び出されたことを表示とベル音でお知らせします。
メモ）一度ベルが鳴るとその後約 10 秒間は新たな着信を知らせるベルは鳴りません。

8: ランプ機能「LmP」
設定値 OFF/5 秒/ON（初期値 5 秒）

液晶ディスプレイ照明を点灯させる機能です。初期状態では「5」秒に設定されており、キー操作（ＰＴＴと音量調節以外）をすると自動的に 5 秒間照明が点灯します。

注）ディスプレイ照明を ON（常時点灯）に設定すると、電池の消耗がとても早くなります。

9: PTT ホールド機能「HLd」
設定値 OFF/ON（初期値 OFF）

【PTT】キーを一度押すと送信状態を継続、もう一度【PTT】キーを押すと受信状態になります。この機能を ON にすると、送信中ずっと【PTT】キーを押していなくても済みます。一部のイヤホンマイク・ヘッドセット系アクセサリーで【ＰＴＴ】キーのロック機能が無いものをお使いになるときにロック代わりに使うこともできます。

注）PTT ホールド機能は一部のオプションマイクでは使用できません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。

10: PTT オン／オフ機能「Ptt」
設定値 OFF/ON（初期値 ON）

送信を禁止する機能です。OFF に設定後は、【PTT】キーを押すと【Ptt oFF】表示で送信できなくなります。
ユーザーグループの中に「連絡を聞くだけで、返事はしなくてよい」メンバーがいるとき等に使います。
メモ）この「ラジオ」のような無線機は業務通信の用語で「受令機」と呼ばれています。

11: 中継器接続手順変更機能「At」
設定値 OFF/ON1/ON2（初期値 ON2）

中継動作自動接続手順を変更する機能です。接続タイミングを対応中継器に合わせて最適化する設定なので、中継器を使っていないときは変更する必要はありません。

oFF： 自動接続手順解除
on1：DJ-R20D、DJ-R100D を中継器とするとき
on2：DJ-P10R、DJ-P11R、DJ-P101R、DJ-P111R、DJ-P112R を中継器とするとき

12: イヤホン断線検知機能「EAr」
設定値 OFF/ON（初期値 ON）

本体に取り付けられているイヤホンの断線を検知する機能です。イヤホン断線検知機能を ON に設定すると、起動時に断線検知動作を行い、コードが断線していると判断すれば 10 秒間、[Ear-nG]表示と内蔵スピーカよりアラーム音でお知らせします。

13: コールバック機能「CLb」
設定値 OFF/ON（初期値 OFF）

コールバック機能を ON に設定すると、イヤホン（イヤホンマイク）使用時に送信中の自分の声をモニターすることができます。
注）スピーカマイク使用時にコールバック機能を ON に設定すると、ハウリングを起こして正常に使えなくなります。

14: 送信出力設定「PwL」
設定値 Lo/Hi（初期値 Hi）

送信出力を変更することができます。

Lo：1mW 出力　標準の設定の 1/10 まで送信出力が小さくなり、通話距離はとても狭くなります。
b12～b29 チャンネルでは 3 分タイムアウトの制限を受けず、連続送信ができるようになります。
Hi：10mW 出力　通常の設定です。

15: 緊急通報機能「EmG」
設定値 OFF/ON（初期値 OFF）

緊急通信機能を ON に設定すると、【GROUP】キーを 3 秒間押し続けることで「EmG-on」と表示され内蔵スピーカから緊急通報音が鳴ります。（緊急通信機能を OFF に設定している場合、【GROUP】キーを 3 秒間押すことでデュアルオペレーションモードでのサブ側を登録します）

※緊急通信機能はキーロック中でも有効です。

緊急通報音が鳴っているとき、同じチャンネル（同じグループ）の無線機に対して緊急通報音が送信され、通信相手に注意喚起することができます。緊急通報音を停止するには、【PTT】キーを 1 回押してください。
また、ビープ音の設定が OFF で緊急通報をした場合は緊急通報音が鳴らず、マイクを起動し周囲の音を送信します。（一部のオプションマイクでは使用できません。取扱説明書のオプション一覧表をご覧ください。）

16:バイブレーター機能「vib」
設定値 OFF／ON1／ON2／ON3（初期値 OFF）

呼び出されたことをバイブレーターの振動でお知らせします。振動タイプは 3 つのパターンから選択できます。
メモ）一度動作するとその後約 10 秒間はバイブレーター動作を行いません。

アルインコ(株) 電子事業部